

【改正後】

別記様式第31

①

パッケージ型自動消火設備試験結果報告書			
試験実施日 年 月 日			
試験実施者			
住所			
氏名 印			
用途	()項	構造	A・B・C
延べ面積	m ²	階数	地上 階 地下 階
機器	認定型式番号	防護面積	型式 製造者 設置個数
試験項目		種別・容量等の内容	
外	パッケージ	設備	_____
		ユニット	構造・性能 _____ 本体 _____ 表示等 _____
		同時放射区域	_____
		貯蔵消火薬剤	種類 _____ 消火薬剤量 _____
観	機器	蓄圧式	貯蔵容器 _____
			作動装置 (容器弁開放装置) _____
		加圧式	バルブ類 _____
			指示圧力計 _____
試	機器	貯蔵容器 _____	
		バルブ類 _____	
		安全装置 _____	
		加圧用ガス容器 _____	
験	機器	容器弁 _____	
		作動装置 (容器弁開放装置) _____	
		圧力調整器 _____	
		配管 _____	

行追加

文言変更

次頁から移動

【改正前】

別記様式第31

②

パッケージ型自動消火設備試験結果報告書			
試験実施日 平成 年 月 日			
試験実施者			
住所			
氏名 印			
用途	()項	構造	A・B・C
延べ面積	m ²	階数	地上 階 地下 階
機器	認定型式番号	防護面積	型式 製造者 設置個数
試験項目		種別・容量等の内容	
外	パッケージ	設備	_____
		ユニット	本体 _____ 表示等 _____
		同時放射区域	_____
		貯蔵消火薬剤	種類 _____ 消火薬剤量 _____
観	機器	蓄圧式	貯蔵容器 _____
			作動装置 (容器弁開放装置) _____
		加圧式	バルブ類 _____
			指示圧力計 _____
試	機器	貯蔵容器 _____	
		バルブ類 _____	
		安全装置 _____	
		加圧用ガス容器 _____	
験	機器	容器弁 _____	
		作動装置 (容器弁開放装置) _____	
		圧力調整器 _____	
		配管 _____	

【改正後】

パッケージ型自動消火設備

②

		試験項目	種別・容量等の内容	結果
外観	加圧用ガス容器等	種別	MPa	
		容量		
	起動装置	感知部	感知方法	
			感知器	
		手動起動装置		
	受信装置	表示灯・スイッチ		
		防護措置		
		予備品等		
	中継装置			
	選択弁	機器等		
外形等				
放出導管	機器等			
	設置状況	配管系路		
		耐震措置		
放出口	設置方法	配置等		
		配管との接続		
		放射障害		
電源	機器等			
	常用電源	V		
	非常電源(内蔵型のものに限る。)			
機能試験	貯蔵容器、加圧用ガス容器等	作動装置(容器弁開放装置)		
		指示圧力計		
		バルブ類		
		圧力調整器		
	選択弁			
	起動装置	感知部		
		手動起動装置		
	受信装置	警報及び表示		
		復旧スイッチ		

文言追加

【改正前】

パッケージ型自動消火設備

②

		試験項目	種別・容量等の内容	結果
外観	加圧用ガス	配管		
		種別		
	起動装置	容量	MPa	
		感知部	感知方法	
			感知器	
		手動起動装置		
	受信装置	表示灯・スイッチ		
		防護措置		
		予備品等		
	中継装置			
選択弁	機器等			
	外形等			
放出導管	機器等			
	設置状況	配管系路		
		耐震措置		
放出口	設置方法	配置等		
		配管との接続		
		放射障害		
電源	機器等			
	常用電源	V		
	非常電源(内蔵型のものに限る。)			
機能試験	貯蔵容器、加圧用ガス容器等	作動装置(容器弁開放装置)		
		指示圧力計		
		バルブ類		
		圧力調整器		
	選択弁			
	起動装置	感知部		
		手動起動装置		
	受信装置	警報及び表示		
		復旧スイッチ		

【改正後】

パッケージ型自動消火設備

③

試験項目		種別・容量等の内容		結果
機能試験	中継装置	電源自動切替機能	_____	
		端子電圧・容量	V AH	
	非常電源	_____		
総合試験	総合作動試験	選択弁作動状況	_____	
		音響警報作動状況	_____	
備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源（内蔵型以外のもの）が設置されているものにあつては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

【改正前】

パッケージ型自動消火設備

④

試験項目		種別・容量等の内容		結果
	中継装置	電源自動切替機能	_____	
		端子電圧・容量	V AH	
	非常電源	_____		
総合試験	総合作動試験	選択弁作動状況	_____	
		音響警報作動状況	_____	
備考				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源（内蔵型以外のもの）が設置されているものにあつては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。